

授業科目 リハビリテーション概論

【担当教員名】 真柄 彰 栢森良二	対象学年 2	対象学科 必修・選択	栄養・社会 選択
	開講時期 後期	必修・選択	選択
	単位数 1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

人が疾病や外傷などにより心身に障害をもっても、人間として幸せな気持で、生き甲斐をもち一般社会のなかで生活できるように考え援助していくのがリハビリテーション医学の役割である。一般医療の中ではとすれば障害者の存在が忘れられがちとなることがある。リハビリテーション医療は障害者のためだけにあるのではなく、いつ傷害を受けるかもしれない健常者のためにも大切である。障害者と健常者がわけへだてなく共存できることが目的であることを学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

リハビリテーションの理念と歴史を踏まえて、医学的・職業的・社会的・心理的側面から包括的なリハビリテーションの考え方を理解できるようにする。
障害の構造を理解しリハビリテーション医学における各職種的位置づけを理解するとともに、他職種とのチームアプローチのおこない方を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	歴史と定義・分野・障害分類		講義
2	地域リハビリテーション・症例		講義
3	機能障害		講義
4	廃用症候群		講義
5	臨床検査		講義
6	理学療法・作業療法		講義
7	言語療法・心理療法・リスク管理		講義
8	障害の心理的受容		講義
9	高次脳機能障害		講義
10	環境の評価と改善		講義
11	保健医療福祉の連携・家庭訪問		講義
12	補装具（義肢・装具・車椅子・自助具）（1）		講義
13	補装具（義肢・装具・車椅子・自助具）（2）		講義

【使用図書】

<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>

教科書 (必ず購入する書籍)	リハビリテーション医学テキスト 三上 真弘・石田 暉 (編) 南江堂 5,565円
参考書	目でみるリハビリテーション医学「第2版」 上田 敏 財団法人 東京大学出版会 3,914円
その他の資料	

【評価方法】

定期試験
第7回の後に中間試験を行う

【履修上の留意点】